

**地区館報「Mウイング」が第5回
全国公民館報コンクールで奨励賞を受賞!**



全国公民館連合会が主催する「第5回全国公民館報コンクール」において、全国159件の応募のなかから選ばれました。みなさまのご支援・ご協力ありがとうございます。

受賞を喜ぶ館報委員のみなさん



平成27年3月1日現在

世帯数	: 834戸(+26)
人口	: 1549人(+49)
男	: 745人(+28)
女	: 804人(+21)

平成26年度公民館事業ハイライト

5月18日
親子ニュースポーツ大会



スカットボール、体育委員さんに教えてもらったよ!

4月27日
春のマレットゴルフ大会



満開の桜の下でナイスショット!

4月11日
第2回デジタルカメラ講座



桜を追いかけて飯田まで行きました

6月7日
春のウォーキング大会「内田地区」



牛伏寺では牛さんがお出迎え

7月2日
七夕人形づくり教室



みんなとっても上手にできました! それぞれの力作を手にハイ・チーズ☆

7月8日
夏の健康のつどい



スポーツ吹き矢を体験。腹筋を使います...

7月30日
夏休み自由研究応援講座「地区の中にある花と木を知ろう」



先生の説明をしっかりと聞いてメモります みんな真剣(@_@)

9月30日
第2回料理学習教室



美味しく、体に良い料理のレパートリーが増えました

8月25日
第4回歴史文化学習講座



めったにみられない遺跡を見学

8月7日
青山様・ぼんぼん



元気に声を出して歩きました。四柱神社で一休み&記念撮影

10月29日
秋の視察研修「茅野・白樺湖方面」



美しい秋空の下、縄文のヴィナスにも会ってきました!

12月14日
親子餅つき大会



子ども用の杵なら、一人でつけるもん♪

1月22日
冬のウォーキング講座



外は雪、怪我しないよう入念にストレッチ

女鳥羽川と鮭



知る人も多いが、松本の町の中心部を流れる女鳥羽川は人工河川である。16世紀後半に当時のこの地の支配者武田氏が松本城の外濠とするために、それまで城の西側を流れていた天然の流れを変え、今の女鳥羽川にした。

岸の「縄手」は松本城築城時に縄を張って測量(その縄は『水縄手』と呼ばれた)したことに由来する。又、女鳥羽川下流の白板にある「犀川通船記念碑」は、江戸時代後期に開設した犀川を利用する水運事業の名残(通船の発着場跡)である。この通船事業は、これによって影響を受ける陸路の牛馬による運送業者やその中継地であった宿場の人々等の反対によって申請から松本藩の認可が出るまで約百年かかった。そんな反対派の中に、鮭漁に支障が出るとする人々もいた。実は、松本は古くから日本有数の鮭鱒漁獲地だった。

以下、松本市在住の坂本明由先生(元諏訪双葉高校長)からお聞きした話を紹介する。昭和9年長野県で獲れた鮭鱒は合計約2万7千貫(10万キ)であったが、昭和10年以降激減し、昭和20年には鮭の漁獲量は0となった。これにより古代から続いた信州の鮭鱒漁は何千年に亘った歴史を閉じた。原因は信濃川に次々に建設されたダム等により鮭鱒類の遡上が遮られたことによる。松本市内では昭和14年に薄川の筑摩橋付近で捕獲された1尾が最後の鮭だろうといわれている。

信濃の国は古くから日本有数の鮭鱒の漁獲を誇った土地であり、古代の延喜式には朝廷や伊勢神宮への貢納物として鮭の楚割(すはやわり)鮭(トバ)・氷頭(ひず)・筋子等の水産加工物が記録されている。信濃国における鮭鱒の主要産地は千曲川と犀川の合流点である明科を中心とする安曇平・松本平であり、江戸時代の記録では女鳥羽川、田川、奈良井川で捕獲されている。明治時代の松本地方の移出品として生糸等とともに鮭鱒の新巻も記載されている。

なぜ、海から2百数十キもある安曇平まで鮭鱒は遡上してきたのだろうか。それはこの地が豊かな湧水に恵まれ、鮭鱒の産卵地として適地であったからである。

信濃国における鮭鱒の主要産地は千曲川と犀川の合流点である明科を中心とする安曇平・松本平であり、江戸時代の記録では女鳥羽川、田川、奈良井川で捕獲されている。明治時代の松本地方の移出品として生糸等とともに鮭鱒の新巻も記載されている。

宝くじの助成金で、防災デジタル無線機を整備しました

第一地区防災連合会は、この度災害時の緊急連絡(各町会の災害情報収集・伝達)機能の強化・効率化および自主防災力・地域の自治意識の向上を図り、更なる地域の一体感・連帯感の醸成を目的に、(財)自治総合センターの宝くじの社会貢献広報事業として、宝くじの受託事業収入を財源として実施している、平成26年度コミュニティ助成事業(地域防災組織育成助成事業)の宝くじ助成金を活用して、次の内容で防災デジタル無線機の配備を行いました。



- 事業内容 防災デジタル無線機の購入 防災本部(第一地区公民館)、地区19町会各1台ずつ配備
- 事業費総額 1,900,800円(うち、助成金額1,800,000円)

防災デジタル無線機を配備することにより、地区内の防災本部と町会および町会どうしの緊急時や災害時における連絡が可能となり、地区の防災活動および救助作業などに大きく役立つことが期待されます。



【防災デジタル無線機】



【公民館前掲示板】

電車通り

イスラム国の人質殺害事件以来、世界中の国々で、まわりから見たら意味もないようなテロがくり返されている。一方日本では、若者による理解しがたい殺傷事件が相次いでいる。自分をほんとうに大切に思い、好きでいるのなら、人を傷つけ殺すということは出来ないはずだ。それは結局自分を殺すということに通じることなのだ。

「誰でもいいから人を殺してみたか?」などと平然と言えぬ人々を、「未成年だから」という通念で扱っていいものなのかとさえ思ってしまう。けれど現実には、そういう事件のニュースを耳にするたびに、ただ深いため息が出るだけの私である。そして、夢想の中に逃げる。

もし、神様が私の前に現れて「何か一つだけ希望をかなえてやろう」と言ってくれたらと。イスラム国のような凶暴な殺戮願望と権力志向を持つ組織や世界中のそういう資質を持った人々の思考の中から、そのような願望を全て忘れさせ、羊のように優しくおとなしく、それぞれの暮らしにひたむきに生きる人々に変えてほしい。

決して全滅させてほしいなどと願わない。神様なら出来るでしょう。巨大な殺虫剤噴霧器のようなもので、世界中の邪悪な者たちの上に散布してほしいのです。